

平成二十六年入学試験問題（推薦入試Ⅱ・社会人特別入試）

小論文

法文学部 総合社会システム学科（昼間主コース・夜間主コース）

注意事項

- 一、受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
- 二、解答は必ず解答用紙に記入すること。
- 三、解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
- 四、解答時間は、一二〇分である。
- 五、縦書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

問題

次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

問1 文章中で述べられている「アフアーマティブ・アクション」に賛成する立場、反対する立場のそれぞれの主張を要約し、説明しなさい。(四〇〇字以上、六〇〇字以内)

問2 わが国において、「アフアーマティブ・アクション」の採用が考えられる場合として、どのような例が考えられるだろうか。

一つの例を取り上げ、それについてのあなたの考えを論じなさい。ただし、文章中で挙げられた例(入学試験においてマイノリティの出願者を対象とする措置)以外の例を挙げること。(四〇〇字以上、六〇〇字以内)

非公開

非公開

非公開

(マイケル・サンデル(鬼澤忍・訳)、『これからの「正義」の話を生よう―いまを生き延びるための哲学―』、早川書房、二〇一一年、二六四―二七二ページ、抜粋・一部改変)

【注釈】

注釈1 GPA (Grade Point Average) とは、各教科の成績を基礎として算出される、学生の成績評価の平均値のことをいう。米国の大学や高校などで、学生の学力を測るための指標として使われている。近年では日本でも、GPAを導入する大学が増加している。

注釈2 SAT (Scholastic Assessment Test) とは、米国で大学進学希望者を対象に行われる共通試験のことをいう。

注釈3 GRE (Graduate Record Examination) とは、米国で大学院への進学希望者を対象に行われる共通試験のことをいう。

平成二十六年入学試験問題（推薦入試Ⅱ・社会人特別入試）

小論文

法学部 総合社会システム学科（昼間主コース・夜間主コース）

出題の意図

この小論文の出題の意図は、受験生が、社会科学系の学問を専攻する上で必要な能力をどの程度持っているかをみることにある。まず、出題された文章を正しく読解することができるかをみる。次に、提示された文章の内容に則した具体的な社会問題を挙げ、自分の考えを述べさせることによって、社会への関心の度合いを問う。

さらに、解答された文章全体から、自分の考えを論理的に表現し、展開する能力を判断する。これらは、本学科のアドミッション・ポリシーである①人間社会や社会諸科学への深い関心②柔軟かつ総合的な思考力③主体的に学ぶ意欲を判断するものである。